

『知ってる？ ACP（人生会議）
～50歳になったら考えよう～』

港区版

人生会議ノート

～人生の最終段階の医療と介護について～



人生会議とは？大切にしていることや、望んでいること、どのような医療や介護を受けたいかについて、ご自身で考えたり、信頼する人たちと話し合ったりすることです。

記入日 年 月 日

大きな病気・けがで入院した。
これからも療養は必要と言われた。

さんはどうしたいですか



●●がんです。予後1年
程度です。

もし、治らない病気になり
今まで通りの生活ができなくなったら…

心臓疾患のため入院治療が必要です。
退院後は自宅で過ごしますか。
転院先を探しますか。



子どもらに世話にならずに自宅で生活
したいな。

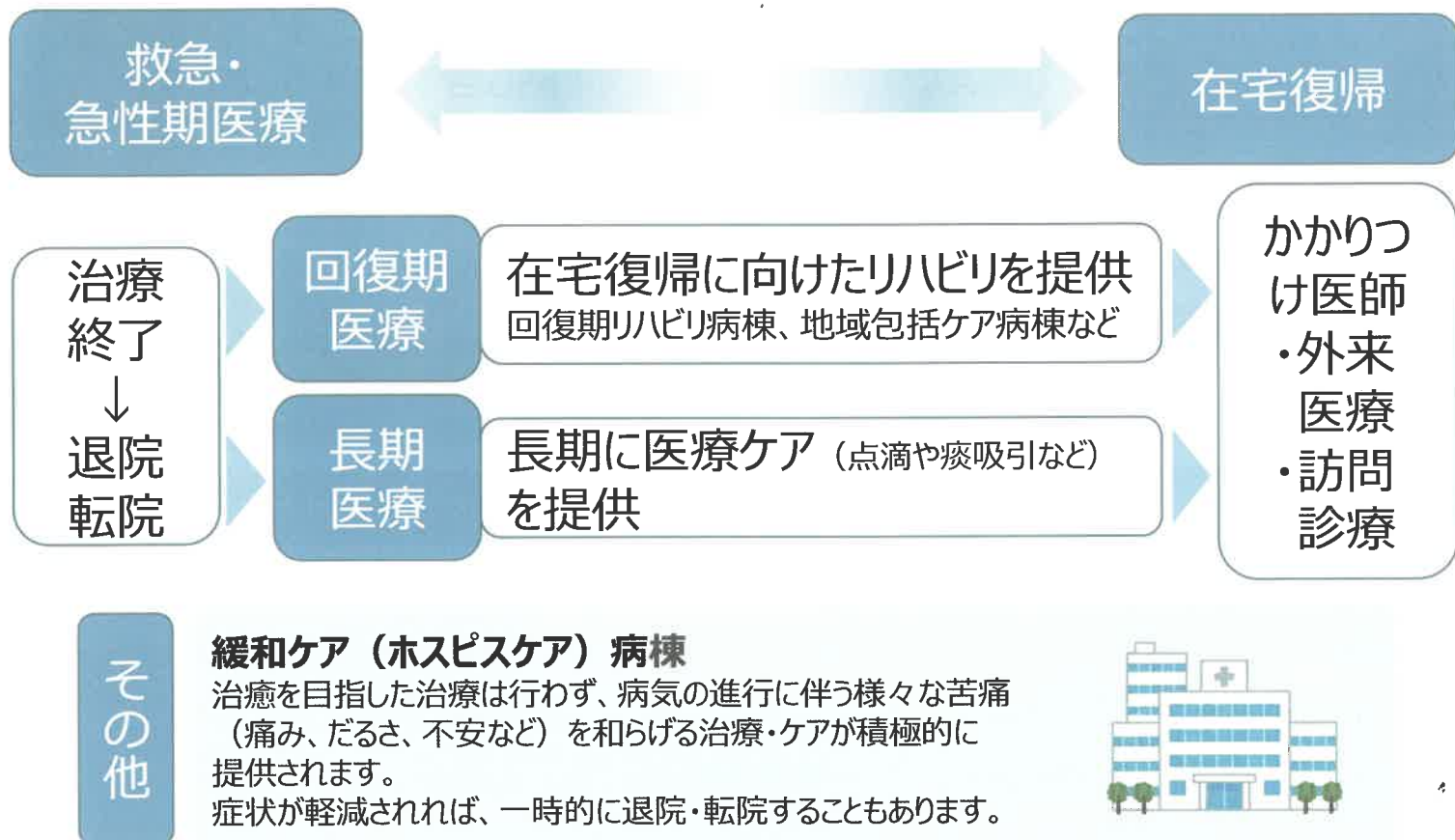
次の①～③を今、考えてみましょう

① どこで過ごしたい？ ～療養・生活場所について～

- ☐ 自宅 ☐ こどもや兄弟姉妹などの家 ☐ 病院等の医療機関
☐ 老人ホーム等の施設 ☐ その他 ☐ わからない

医療機関

いま医療は “役割分担制” になっています。



施設

家族・ケアマネと話し合いましょう。

特別養護老人ホーム ＊要介護度3～5 寝たきりや認知症など、介護度の高い方が入所できる。 入居待ちの期間が長い。	介護老人保健施設 ＊要介護度1～5 退院後すぐに在宅復帰が困難な場合に医療ケアやリハビリを受けられる。入所期間は原則3か月。	介護付き有料老人ホーム（民間施設） 介護が必要な65歳以上の方が対象。入居条件は幅広く、医療ケアの提供に特化した施設もある。
サービス付き高齢者住宅（民間施設） 安否確認と生活相談が提供される。介護が必要になれば介護サービスを利用し生活できる。	小規模多機能型居宅介護 ＊要支援1～要介護5 訪問介護・通所介護・短期入所と訪問看護を一体的に提供するサービス。	

在宅診療

通院が難しく、かつ継続的な医療が必要な患者様の自宅に医師が定期的に訪問し診察を行います。



港区医師会より



訪問歯科診療

在宅や施設等で歯科診療所に通院できない患者様の訪問歯科診療を行います。



港区歯科医師会より

訪問薬剤管理指導

処方箋の調剤・服薬指導等療養中の患者様を定期的に訪問してお薬を適切に飲めるように手伝います。



港区薬剤師会より

訪問看護

可能な限り自宅で自立した日常生活を送ることができるよう看護師などが疾患のある患者様の自宅を訪問し、主治医の指示に基づいて療養上の世話や診療の補助を行います。



港区訪問看護ステーション連絡会より

②どんな治療を受けたい？～病気の進行・急変時を考えておきましょう～

- ☐ 一日でも長く生きられるような治療（延命治療）
- ☐ 病気の完治を目指した治療
- ☐ 治る見込みが半分以上であればできるだけ積極的にするが、半分以上なら治療を希望しない
- ☐ 苦痛を和らげ、自分らしさを保てる治療
- ☐ できるだけ自然な形で最期を迎えられるような必要な最低限の治療
- ☐ その他（ ）

主な医療処置

【心肺蘇生処置】

- ☐ 心臓と呼吸が止まった時に、心臓マッサージや電気ショック、人工呼吸器によって心臓と呼吸の動きを一時的に助ける方法。



【人工呼吸器】

- ☐ 自力で呼吸ができない時、呼吸が止まった時に、喉（気管）にチューブを入れて機械で肺に酸素を送る方法。

*気管切開：人工呼吸器が長期間に及ぶ時に気管を切開してチューブを入れる処置です。



主な医療処置

【経腸（消化管）栄養】

□ 経鼻栄養

鼻からカテーテル（管）を胃まで入れ、栄養剤を送る方法。



□ 胃ろう

内視鏡手術で胃に小さな穴をあけ、お腹にカテーテル（管）を取り付けて、胃に栄養剤を送る方法。

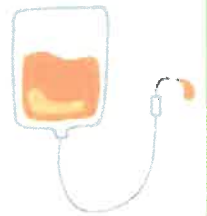


*長期に行う場合はおおむね6か月ごとに入れ替えが必要です。

【静脈（血管）栄養】

□ 末梢静脈栄養

腕や足などの血管から一時的に点滴する方法。



□ 中心静脈栄養

首や鎖骨下などから心臓近くにある太い静脈にカテーテル（管）を入れ、栄養補給の点滴する方法。



住み慣れた自宅でこれらの医療を受けることができます。

“わがまま”でええんやで



【わたしの気持ち】

③ 自分の気持ちを代わりに伝えてくれる人は？

- ☐ 家族 ☐ 友人 ☐ 代理人 ☐ 医師 ☐ 看護師
☐ 介護者 ☐ その他（ ）

その方のお名前

考えられる状況

その時はいつくるかわかりません。



- ・認知機能が低下してしまったら自分の気持ちを伝えることも難しくなります。
- ・元気なうちから自分がどうしたいかを考えておくだけでなく、自分の気持ちを理解してくれて周囲に伝えてくれる“代弁者”を決めておきましょう。
- ・そして、その代弁者に日頃から自分がどうしたいかの“自分の気持ち”を伝えておいてください。